

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



# イマジン通信

Vol.59



## 上半期を振り返って

早いもので、今年度も半分が過ぎました。ヘルパー事業は、利用者は少しずつですが増えていますが一人ひとりの利用は減ってきているように感じます。本人の様子やご家族の状況が変わることで利用状況が大きく変わります。様々なサービスが出来てきたこともあり、ヘルパー事業への支援の集中が少なくなっているようです。

グループホーム・ケアホーム事業は、入居者に多少の変動はありましたが、落ち着いた生活をしていただいています。つつい雨やどり南側の土地購入など、サービス提供に影響のない部分での進展があります。次期建設計画に向けて進行中です。

ショートステイ事業は、週末は4名定員に15～16名の宿泊希望が殺到するほどにニーズが高まっています。家族の用事やご兄弟の用事、緊急性の高い事態も多くあります。生活改善や生活リズムの調整のための利用もあり、以前のような体験や経験値拡大といったニーズに多く対応できないのが現状です。つつい、そろそろ共にショート枠がありますが、ご本人やご家族からの要望で宿泊場所を指定される方も少なくなく、選択のできるサービスになってきていることが変化でもあり、事業所としては励みでもあり、プレッシャーでもあります。選んでいただける支援を提供できるよう尽力したいと思います。

5月より実施させていただいている、生活介護事業は10名だった通所者が15名となり人数も増加しています。他の事業所との大きな違いは、活動場所が複数あり、活動内容や日課によって活動場所を自分たちが移動すること、複数の事業所を日にち単位で利用している方が多い点です。1つの事業所を選ぶと「その人」になってしまうことが多く見られます。イマジンでは「〇〇さんが風のこえに通っている」という考え方を大切にしています。その時の状態により通えなくなる場合もあります。通わないほうがいい場合もあります。その人に必要な生活の仕方に少しでも利用していただけたらと思います。また、積極的に地域との接点を持つようにしています。生活介護事業ですが、今後は作業も取り入れるべく準備中です。

放課後等デイサービス事業は、利用者の拡大や利用日の増加にストップをかけさせていただくぐらいにニーズは多くあります。大変申し訳なく、お断りや待っていただいている方もいらっしゃいます。看護師の配置を行い、重身のお子さんの受け入れ準備も始めていますが、支援者の習熟度を上げ、より質の高い支援を安全に安心して提供できる体制を作っている最中です。もうしばらくお待ちいただきたいと思います。

どの事業もいい結果を残すことが出来ました。しかし、それ以上に課題点や改善しなくてはならない部分に気づかされる半年でした。利用者を大切に思うがばかりに見落とししてきたことに気付かされ、すべきことの大きさに改めて腹を据えて向き合っています。

多くの利用者と多くの職員に助けられて下半期に突入です。後半戦、よろしくお願いします。(担当 澤島)



## 雲のことは スタート♪

暑い夏を乗り越え、通所者の皆さんは笑顔で元気になってきてくれます。5月より始めた風のこえですが、この間に、自宅で過ごされていて行き場が無かった方や、他の事業所から通所先を変更された方、健康上の課題から生活介護事業を選ばれた方、特別支援学校の高等部を退学して通所を始めた方など、様々な方がたが新しい通所者として増えてきました。

一方、5月の設立当初から通われている方々は、健康面が改善されたり、情緒面が改善されたりと、自宅での様子にメキメキと変化を見せてくれる方が多くいらっしゃいます。ご家族からも「よく笑うようになったのよ♪」「こんなに(日中活動の)話したことなかった」「うちの子って、こんなにしゃべった?」などなど…と嬉しいお言葉をたくさんいただきます。しかし、その逆に“慣れ”が“刺激の無さ”になり、不満気に声を出す様子や落ち着かなくなる様子、睡眠時間が短くなる日があったり・・・と歓迎できない様子も見られることがあります。

風のこえでは、グループ対応や個別対応などで一人ひとりに合った時間を過ごせるように工夫をしたり、クッキングなどの楽しい活動も取り入れてきました。工夫だけでは何ともならないこともある。今以上に、一人ひとりが笑顔で過ごせるように！と考え、10月より、島田駅のすぐ近くに“雲のことは”という新しい活動場所を増やしました。今回の建物は民家です。畳の部屋、お風呂など、家庭的な雰囲気もあり、部屋ごとに空間を分けられるのが特徴です。活動も作業や散歩を単調に行うのではなく、一日のスケジュールを風のこえと雲のことはを連動させるようにも考えました。通所者が元気に2つの活動場所を中心に、島田の駅前を闊歩しています。先日も島田の大祭(帯祭り)に散歩がてら行って来ましたよ♪(担当 鷺坂)





## つつい雨やどりの生活 ⑳

長い長い夏の暑さがようやく和らぎ、涼しい風が気持ち良く感じる季節になりました。

つつい雨やどりでは、いつやろうかとタイミングを見計らっていた衣替えを、やっと始める事ができました。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもありますが、入居者の皆さんは元気に生活されています。

今回は、最近起こったある出来事から、GHCHについて考えさせられたお話しです。つつい雨やどりの入居者には、ご両親が亡くなられて独居生活になられていた方や入所施設から移行をして入居された方が3名いらっしゃいます。その他の皆さんは、ご家族と一緒に生活していた自宅を離れ、入居をされました。自分から「自立したい」と決めた方も居ましたが、ほとんどは家庭での生活を継続する事が困難な状況であったり、ご家族がご本人の将来を考え、入居を決断されました。

今月の初め、施設から入居をされた方のお母様が逝去されました。突然の出来事でしたが、ご本人も何となく事情を理解し、通夜、葬儀に参列する事ができました。この方の場合、お父様も入居後に亡くなられています。『親御さんが居なくなる事』は、多くのご家族にとって最も大きな不安の1つだと思います。

もし、この方がご自宅で生活していたらどうなっていたのでしょうか…。今回は、世話人が服装等の準備や会場までの送迎を行い、しっかりとお母様を見送りました。そして、その後は何事も無かったかのようにつつい雨やどりの日常生活に戻りました。これが、ご自宅で独りになってしまったとしたら、ご兄弟が支援してくれるのか？受け入れてくれるショートステイや入所施設は？それは近くにある？…などの身の振り方から諸手続きや年金などの財産管理は誰がやるのか？残されたご本人もご家族も混乱する姿が目に見えます。

今まで「親御さんが急に亡くなってしまってからでは遅いんです。」と多くの方にお話させていただきました。実際に、その場面に立会い、その言葉の重さをひしひしと感じています。

地域に在るGHCHはまだ十分ではありません。入居を希望され、まだ入居ができずにいる方も大勢いると思います。ご希望に応えられる様に受け皿を準備していくのは、私たちに課された課題であり、この地域で支援を行う者としての責任だと思います。ご本人の将来に向けて今をどのように生活していくか？、一緒に考えていきましょう。そして、実践していきましょう。それは、住まいという「暮らしの場」のことだけではありません。

家族以外の第三者と関わりを持ちながら生活することが1つの目標であり課題となるなら、その為にヘルパーを利用する事もできると思います。自宅以外でお泊りする為にはショートステイが利用できます。日中活動へ通所する事も、その外のサービスを利用する事も、きっとご本人の将来に安心をもたらすことに繋がります。もちろん、サービスの利用だけでなく、家族と様々な経験をする事、地域の方と繋がる事なども、とても大切です。

『いつか今の生活が出来なくなったら…。』この不安はいつか現実になります。それは突然やってくる事も多く、準備をしていないとない分だけ、ご本人の不安は大きく、その後のご本人に与える変化も大きなものになります。GHCHの入居は、不安を解消する大きな解決策の1つである事を実感しました。だからこそ、しっかりと入居者の皆さんの事を支えて行きたいと思います。そして、入居者の皆さんだけでなく、ご両親やご兄弟の不安が少しでも減っていく様に、ご本人、ご家族、職員、関わる人全員と一緒に考えて行けたらと思います。少し重いお話しになってしまいましたが…、これからもよろしく願います。(担当 二宮)



## 今月の世話人のつぶやき (いよいよ雨やどり)

10月に入り、いよいよ雨やどりの周りの田んぼでは稲刈りが行われ、景色も秋らしくなりました。いよいよ雨やどりで衣替えが行われたり、夏物から冬物のカーペットに変えたりと次の季節へ向けた準備を着々と進めています。

いよいよ雨やどりは障害の特性、年齢も違う8人の入居者が一つ屋根の下で共に生活をしています。イマジンのケアホームの中でも、最小人数でゆったりとした時間が流れています。

入居者のA君とB君は同じ日中活動先に一緒に通っていましたが、A君が事情により他の事業所に移行しました。A君は新しい活動先での様子を世話人に話してくれます。ある日、いつものように食堂で、楽しそうに今日やったこと、新しい活動先の様子や支援員との関わりを話していました。そんな様子を見ていたB君は、A君が世話人に話している様子をチラチラと見ながらいじけているような様子が見られました。そんな様子を見て、以前からB君がA君に対していろいろなことを気にしていたことを思い出し、B君に「なんでそんなに気にするの？」と尋ねると、即答で「一緒に住んでいるんだから当然だよ！」とキッパリと世話人の質問を一蹴しました。

本当は、新しい活動先でしっかりできているか心配してるのになかなか面と向って言えないB君の姿を見て、“いよいよ雨やどり”というケアホームの同居人という枠を超えた家族のような暖かさを感じました。

いよいよ雨やどりでは日常のちょっとしたこと、例えば、C君は他の入居者の洗濯物を自主的に畳んでくれたりしています。D君は手慣れたはしませんが(笑)「笑ってた方がみんなが嫌な感じにならないじゃん」と笑顔が多くなりました。そういった相手に対する配慮を自分のできる範囲でやっている姿が生活の中では多々見られます。

これから季節はだんだんと寒くなりますが、いよいよ雨やどりは暖かな雰囲気ですらしていきなると思い、入居者に私たちが温めてもらってます。(担当 稲葉)





## 子どもたちの成長

暑い夏もやっと過ぎ、涼しく秋らしくなってきましたね。「この指とまれ」の子どもたちは季節に関係なく、いつも元気いっぱいです。

1月から始まった「この指とまれ」も、もう10ヶ月目、あと2ヶ月すれば1周年です。最近では、子どもたちの成長を感じる場面がたくさんあり、嬉しく思います。抱っこすると「あっ、体重が増えてる!」、一緒に並んで歩くと「あれ、背が前より大きくなって?」などの身体的な所もそうですが、一緒に利用しているお友だちや支援員の名前をたくさん覚えてくれていたり、今まで1人で遊んでいる事が多かった子が、一緒に利用している中学生のお兄さんの側に行きチョココンと座ったりという場面も見られました。

そんな中学生のお兄さんのお話です。兄弟で利用して下さっている、中3のお兄ちゃんと中1の弟くん。いつも着替えや散歩、車に乗る時などは、弟くんがリーダーシップを取り、お兄ちゃんを引き連れ行動してくれます。そういった部分では、弟くんの方が「お兄ちゃんぼいじゃん」と思ってしまいます。でも、「さすがお兄ちゃんだなあ」と思うところもあります。弟くんが「おんぶして」と頼むと嫌がりもせず弟をおんぶしながら「この指とまれ」内を飛び回ったり(2人とも楽しそうに笑っています)、弟くんが「そこどいて」と言う譲ってあげるのです。優しいお兄ちゃんです。時々ケンカもありますが、とても仲良しな兄弟だなあと思います。

日々、子どもたちは成長していきます。子どもたちと一緒に喜んだり楽しんだり、時には悩んだり苦しんだりして、子どもたちからたくさん学ばせてもらいながら私たち支援員も負けないよう成長していきたいです。(担当 油井)



## 今月の世話人のつぶやき(ついつい雨やどり)

ついつい雨やどりの世話人を始めて10ヶ月、まだまだ「どうしてだろう?」「なんでかなあ?」と色々考える日々が多い石橋です。ついついにはいろいろな方が暮らしています。中には僕の同級生の方も暮らしており、時には昔話をしたりなんかして、「あの頃は若かったなあ」なんて思い出にふけることも(笑)

まだまだ未熟も未熟な僕ですが、最近は後輩さんも出来たりしてもっと頑張らないといけないと思っています。ついついみんなに色々教えてもらい、成長をして更に世話人道を究めていきたいと思っています。(担当 石橋)



## ヘルパーのよろこび

ヘルパーとして働き始めてから、あっという間に半年が経ちました。

外を歩く機会が以前よりぐんと増え、季節の移り変わりを身近に感じながら支援に入らせていただいています。右も左もわからなかった4月、新茶の香りと新緑に感動した5月、ご利用者さんと道端にしゃがみ込み、おたまじゃくしの成長に目を丸くした6月…。7・8月は熱中症対策と水分補給に追われ、プールの支援にもたくさん入らせていただきました。また、ご家族・職員・事業所が一丸となってご利用者さんと共に酷暑を乗り切ろうとする姿勢が強く印象に残っています。暑さが和らぎ始めた9月、黄金色に輝く稲穂に秋を感じながらのお散歩はとても心地良かったです。イベント続きの10月、島田大祭もお天気に恵まれましたね♪

どの季節にも皆さんの笑顔が溢れていました。喜びがぎゅっと詰まった毎日が本当に楽しいです。

自閉症のHくんが私の名前を呼んでくれた、同じく自閉症のKちゃんがふいに手を握ってくれた、ポーカーフェイスのMさんが笑ってくれた。ビールが元気の源Dさんは毎朝笑顔で迎え入れてくれます。

傍からみたら小さなことかもしれませんが、私にとっては飛び上がるくらい嬉しいです。いまだ未熟すぎる私ですが、知識・技術は勿論、気持ちに寄り添える支援を増やしていきたいです。

皆さんからいただいた笑顔を、これからもお返しさせていただきます。(担当 増田)

## ご寄付のご協力をお願いします。

理事長 澤島直通

いよいよ雨やどりの建設から1年半近くが経ちます。この間に、放課後等デイサービス事業『この指とまれ』、生活介護事業『風のこえ』を実施し、風のこえに関しては『雲のことば』も活動場所として追加しています。どの事業もありがたいことに多くの方がご利用いただき、多くの方が待機している現状です。法人としても、本通・初倉の事務所も職員を収容できないでいます。

今後のケアホーム事業を始めとする全ての事業や法人運営に、建設費用や運営費用が多く必要となります。是非、皆様のご協力を頂きたいと思っております。

イマジンの活動趣旨にご理解を頂くと共に、ご協力をお願いします。

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771

特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通

※ お振り込みの際、氏名のご記入をお願いいたします。



## 平成25年度 正会員の募集をしています！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成25年度の正会員の募集をしています。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

☆仲田嘉雄	☆安達政弘	☆市川建一	☆市川鉄也	☆大石絢乃	☆大石 京	☆大石富佐子
☆大石保雄	☆大石義治	☆大柄和彦	☆太田一義	☆大塚富徳	☆掛本さえ子	☆片山廣子
☆北川世津子	☆木村博志	☆紅林真之	☆紅林真実	☆斉藤哲夫	☆酒井勝利	☆酒井光枝
☆榊原顕寿	☆坂口玲子	☆佐々木輝夫	☆鈴木いずみ	☆鈴木 修	☆高木幸有	☆田中 進
☆田中久規	☆内藤利章	☆中川一男	☆西川剛弘	☆西谷 稔	☆兵庫信男	☆平井洋作
☆八木弘幸	☆田中義規					

【年会費】正会員 5,000円 ・賛助会員(個人) 1,000円 ・賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771  
 特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



◆ 平成25年度の正会員募集中です。ご協力をお願いします。



◆ 北堀千恵  
ヘルパー  
いよいよ雨やどり世話人  
初めてのことばかりですが、毎日新しく支援をさせていただいています。慣れないことも頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



◆ 澤木こず恵  
ヘルパー  
私は音楽が好きでピアノを弾いています。利用者の皆さんと音楽を通じて仲良くなりたいです。よろしくお願いします。

◆ 新しい職員が増えました♪ ◆

支援の充実を目指し、利用者・支援者共に“笑顔”になるよう頑張ります。ご指導の程、よろしくお願い致します。



## 入院中のケア

時々ある支援に「入院中のケア」があります。入院の理由は様々ですが、病院内での身の回りのケアや点滴などの針を抜いてしまう方・患部を触ってしまう方の見守り、出て行ってしまわないか心配での見守りなど、居宅介護等のサービスには無い支援を求められます。病院内ですので、基本は看護側で見られるでしょうが人員不足等の理由から家族に依頼があるようです。もちろん、家族でもやりきることは困難な事態です。

イマジンには「タイムケア」という制度内のヘルパーでは対応できない支援をするサービスを実施しています。正会員とご家族（この、ご家族が障害当事者になります）を対象に30分500円の実費負担です。時間で換算されてしまうので費用がかさんでしまいますが、制度内のサービスが使えない環境ですので家政婦や人材派遣といった方法や現実的ではありませんがアルバイトを雇うということも考えられなくはないのですが・・・どちらにしても費用は掛かります。

何より“安心”が欲しい場面です。本人にとってもご家族にとっても“本人を知っている”ことが最低条件であり、一番大事になります。病院内は、一人ひとりの対応を細やかには出来ない環境だと実感します。しかし、看護師さんが声をかけてくれ、食事の介助やトイレの介助をしてもらえる場面ももちろんあり、日頃から支援をしているヘルパーのアドバイスやアイデアを取り入れてベッドや車いすなどの設備的なことから細かな対応まで受け入れてもらえることもあります。医療と福祉が力を合わせて支援する場面がそこにはあります。（担当 立林）

【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20  
 TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371  
 e-mail imagine@za.tnc.ne.jp  
<http://www3.tokai.or.jp/imagine/>

初倉事務所 (つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1  
 TEL / FAX 0547-30-4117  
 e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

